

水道工事用書類・様式の記載例集

改定の要旨

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
1-210 1-213 ～ 1-217	第12 給水管取付替工事 完成図作成要領	○ 青銅製ボール止水栓の止水構造が、ゲート式からボール式に変更となった。 このため、完成図作成要領の仕切弁Aの表示方法を変更する。

水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

改定 (p. 1-210)

を記入する。

- ・ 新 設㊦
- ・ 撤 去㊧

(ウ) 給水管の管種表示

ステンレス管	S S P	ダクタイル鋳鉄管	F C D〇〇
鉛 管	L P	石 綿セメント管	A C P
ビ ニ ル 管	V P	仕 切 弁	 (平面図)
銅 管	G P	ホース止水栓	 (")
銅 管	C P	メ ー タ	 (")
波状ステンレス鋼管	C S S P		

※ 仕切弁 B 及びメータ表示記号直近の下流側には口径を表示する。

※ 内面粉体塗装ダクタイル鋳鉄管については、継手表示部分を□で囲む (F C D N S)。

(6) お客さま番号等の表示方法

①取付替栓の表示

※残留塩素濃度〇〇mg/ℓ

○ お客さま番号
 使 用 者 名
 住 所
 施 工 年 月 日

※水質検査 (残留塩素濃度測定) 対象工事は配水小管布設 (φ 50 mm を含む) と同時に、当該配水小管から分岐を行ったものを除く。

※枠で囲む。

※連合給水管の場合は、幹栓を表示する。

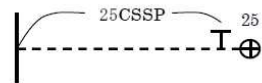
※図面ごとに給水管の通し番号 (索引番号) を付け、○の中に記入する。

※工業用水道管布設路線又は下水再生水管布設路線で採取した対象水についても、採取した場所と残留塩素濃度を記入する。

②支分栓、又は舗装打替路線等において取付替を行わないもの

お客さま番号
使 用 者 名
住 所

<平面図図示例>



※枠で囲まない。

※アパート等で幹栓と同住所のものは住所を省略する。

現 行 (p. 1-210)

を記入する。

- ・ 新 設㊦
- ・ 撤 去㊧

(ウ) 給水管の管種表示

ステンレス管	S S P	ダクタイル鋳鉄管	F C D〇〇
鉛 管	L P	石 綿セメント管	A C P
ビ ニ ル 管	V P	仕 切 弁	 (平面図)
銅 管	G P	ステンレス製 ホース止水栓 B	 (")
銅 管	C P	メ ー タ	 (")
波状ステンレス鋼管	C S S P		

※ 仕切弁 B 及びメータ表示記号直近の下流側には口径を表示する。

※ 内面粉体塗装ダクタイル鋳鉄管については、継手表示部分を□で囲む (F C D N S)。

(6) お客さま番号等の表示方法

①取付替栓の表示

※残留塩素濃度〇〇mg/ℓ

○ お客さま番号
 使 用 者 名
 住 所
 施 工 年 月 日

※水質検査 (残留塩素濃度測定) 対象工事は配水小管布設 (φ 50 mm を含む) と同時に、当該配水小管から分岐を行ったものを除く。

※枠で囲む。

※連合給水管の場合は、幹栓を表示する。

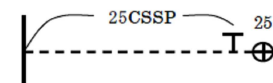
※図面ごとに給水管の通し番号 (索引番号) を付け、○の中に記入する。

※工業用水道管布設路線又は下水再生水管布設路線で採取した対象水についても、採取した場所と残留塩素濃度を記入する。

②支分栓、又は舗装打替路線等において取付替を行わないもの

お客さま番号
使 用 者 名
住 所

<平面図図示例>



※枠で囲まない。

※アパート等で幹栓と同住所のものは住所を省略する。

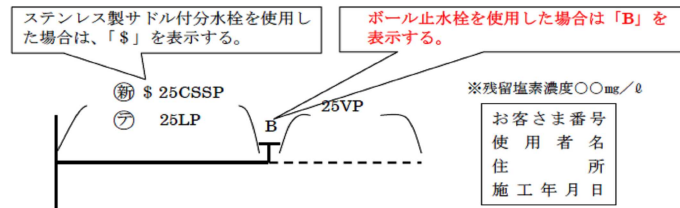
水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

改定 (p. 1-213)

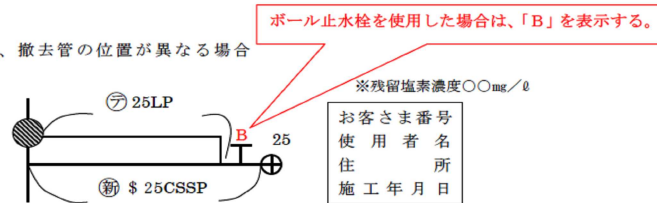
2 平面図の具体的な記載方法

(1) 新設管、撤去管の位置が同一の場所の場合

撤去新設の場合は一本線で表示し、ひっかけ線を設け ㊦、㊧ と表示をする。

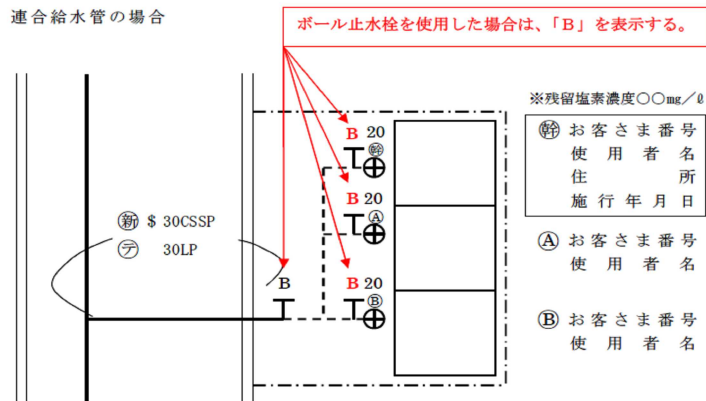


(2) 新設管、撤去管の位置が異なる場合



※ 分水栓撤去した場合は、撤去部に ● 印をし、㊦ と表示する。

(3) 連合給水管の場合

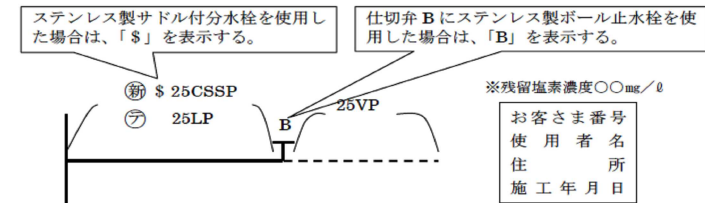


現 行 (p. 1-213)

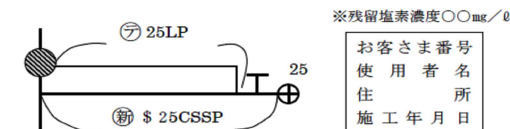
2 平面図の具体的な記載方法

(1) 新設管、撤去管の位置が同一の場所の場合

撤去新設の場合は一本線で表示し、ひっかけ線を設け ㊦、㊧ と表示をする。

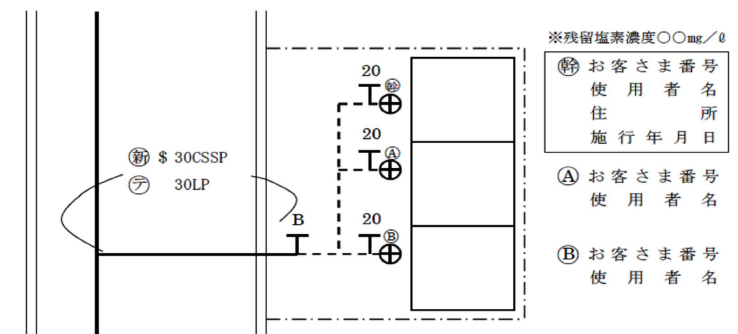


(2) 新設管、撤去管の位置が異なる場合



※ 分水栓撤去した場合は、撤去部に ● 印をし、㊦ と表示する。

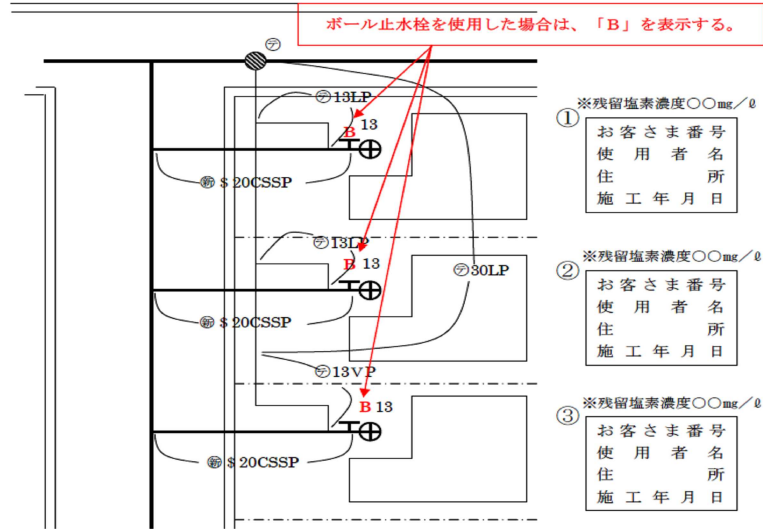
(3) 連合給水管の場合



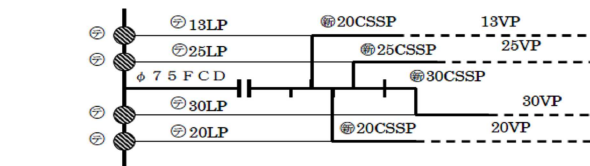
水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

改定 (p. 1-214)

(4) 連合給水管を解消して単独栓にした場合



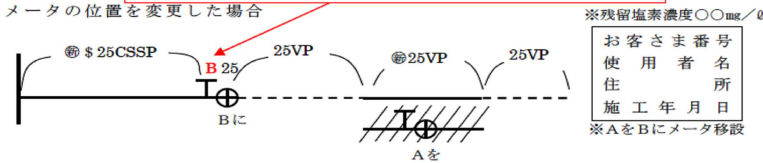
(5) 集中分岐管から分岐した場合



※ 平面図が小さくて表示できない場合は、余白に拡大図を表示する。
なお、集中分岐管に取付する場合は、ひっかけ線を省略してもよい。

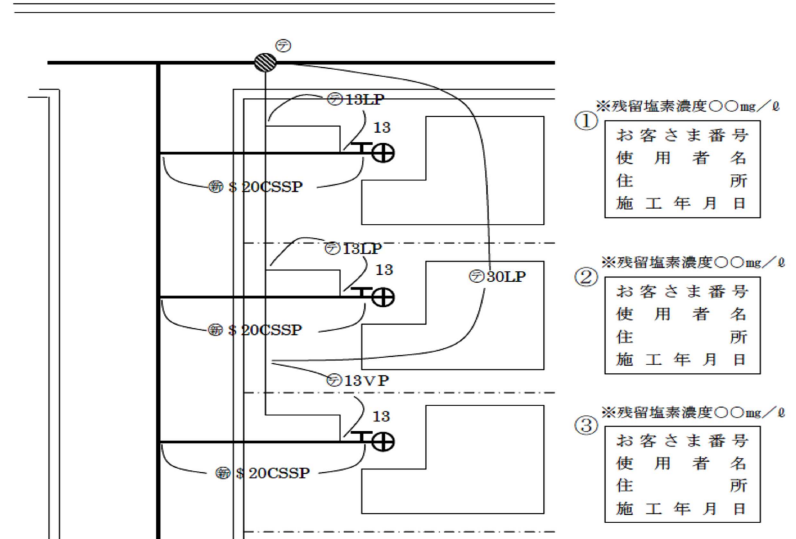
ボール止水栓を使用した場合は、「B」を表示する。

(6) メータの位置を変更した場合

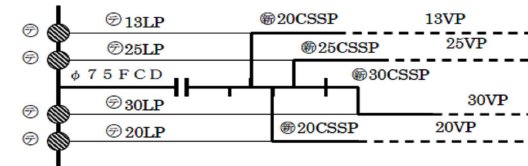


現 行 (p. 1-214)

(4) 連合給水管を解消して単独栓にした場合

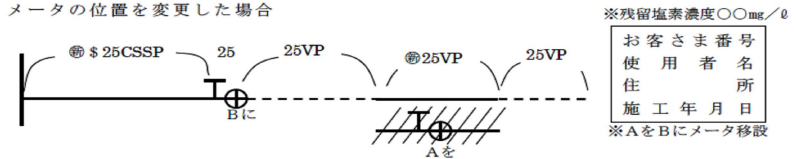


(5) 集中分岐管から分岐した場合



※ 平面図が小さくて表示できない場合は、余白に拡大図を表示する。
なお、集中分岐管に取付する場合は、ひっかけ線を省略してもよい。

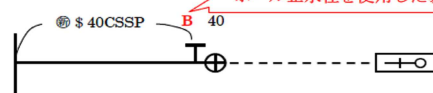
(6) メータの位置を変更した場合



水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

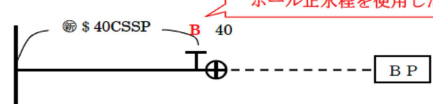
改定 (p. 1-215)

(7) 受水タンクがある場合



ボール止水栓を使用した場合は、「B」を表示する。

(8) 増圧給水設備がある場合



ボール止水栓を使用した場合は、「B」を表示する。

(9) 75mm以上の給水管の表示

当該路線に75mm以上の給水管がある場合は、75mm以上の給水管も表示する。

(10) メータ補足管をショートサイズに取り替える場合

平面図メータ表示記号の下に「取替」と表示する。

(11) 残留塩素濃度測定結果の記入

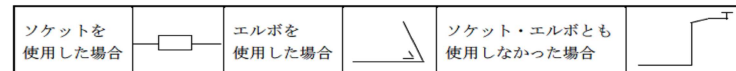
配水管工事標準仕様書「第7章 第4節 7.4.5水質検査」により水質検査を実施した場合は、当該宅のお客さま番号欄の上に測定結果を記入する。

※残留塩素濃度〇〇mg/l

お客さま番号
使用 者 名
住 所
施 工 年 月 日

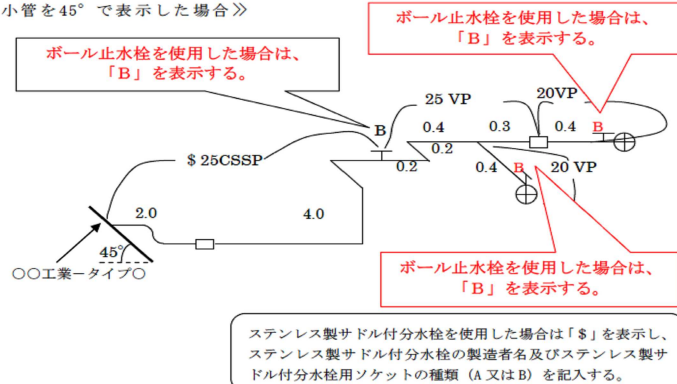
3 立面図の具体的な記載方法

(1) 波状ステンレス鋼管を使用した配管における表示方法は、下記のように表示する。



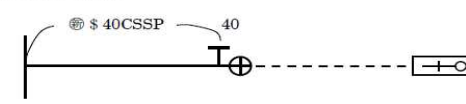
(2) 配管図の表示方法

《配水小管を45°で表示した場合》

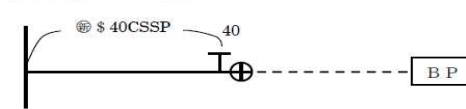


現行 (p. 1-215)

(7) 受水タンクがある場合



(8) 増圧給水設備がある場合



(9) 75mm以上の給水管の表示

当該路線に75mm以上の給水管がある場合は、75mm以上の給水管も表示する。

(10) メータ補足管をショートサイズに取り替える場合

平面図メータ表示記号の下に「取替」と表示する。

(11) 残留塩素濃度測定結果の記入

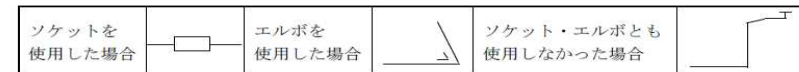
配水管工事標準仕様書「第7章 第4節 7.4.5水質検査」により水質検査を実施した場合は、当該宅のお客さま番号欄の上に測定結果を記入する。

※残留塩素濃度〇〇mg/l

お客さま番号
使用 者 名
住 所
施 工 年 月 日

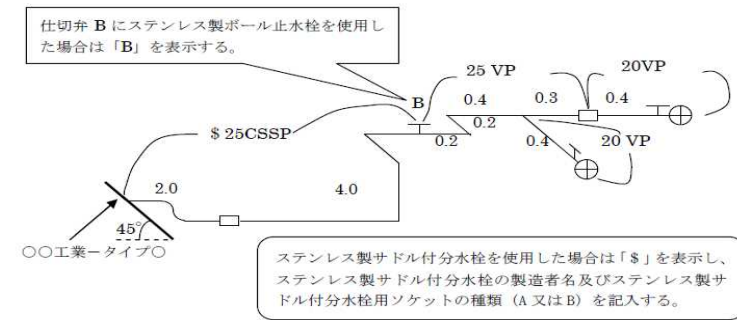
3 立面図の具体的な記載方法

(1) 波状ステンレス鋼管を使用した配管における表示方法は、下記のように表示する。



(2) 配管図の表示方法

《配水小管を45°で表示した場合》

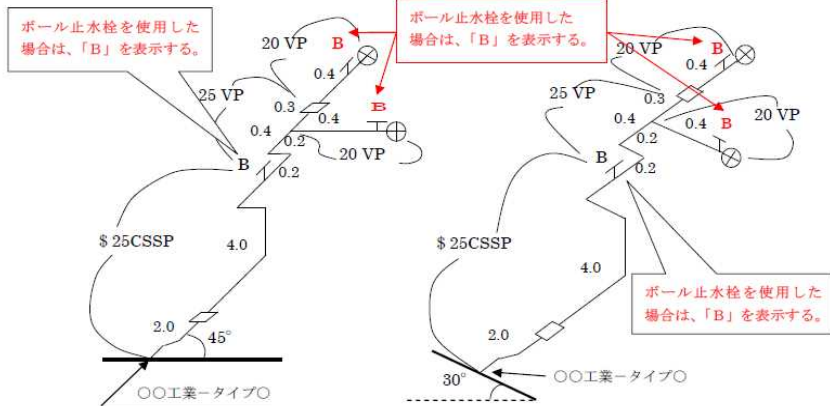


水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

改定 (p. 1-216)

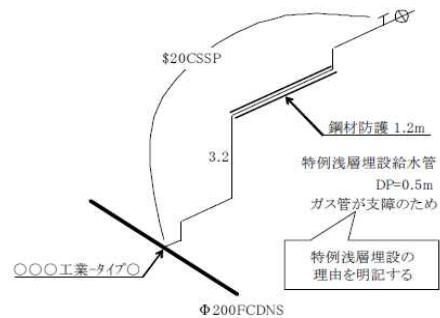
《給水管を45°で表示した場合》

《配水小管を30°で表示した場合》



ステンレス製サドル付分水栓を使用した場合は「\$」を表示し、ステンレス製サドル付分水栓の製造者名及びステンレス製サドル付分水栓用ソケットの種類 (A又はB) を記入する。

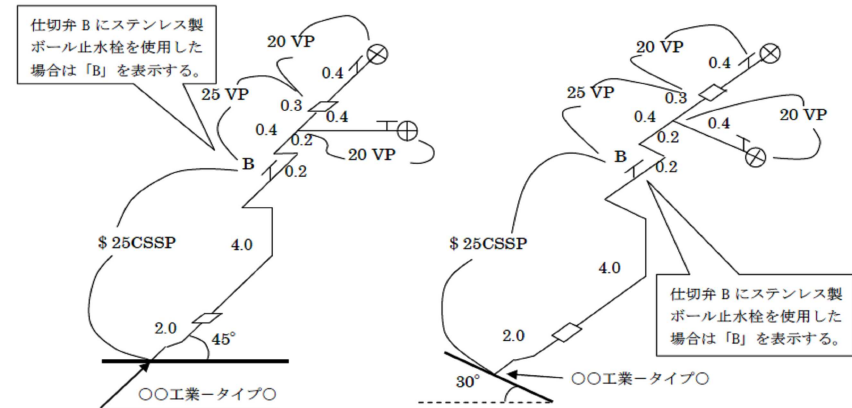
《国道上における特例浅層埋設給水管の防護を行った場合》



現行 (p. 1-216)

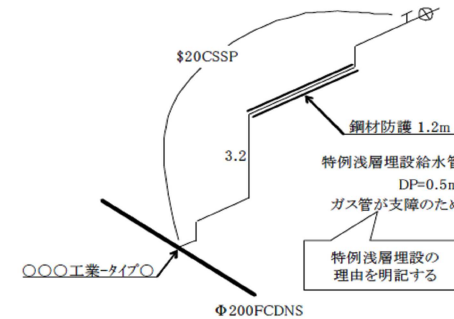
《給水管を45°で表示した場合》

《配水小管を30°で表示した場合》

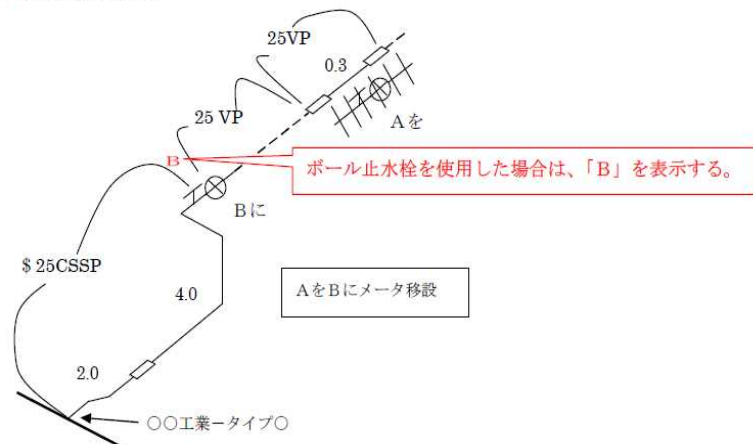
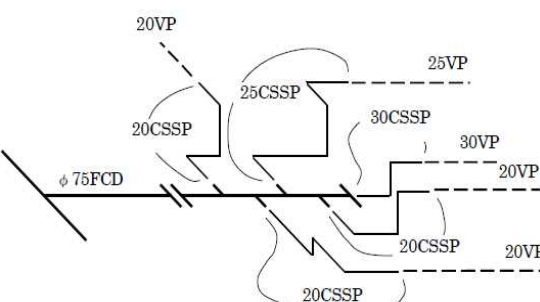
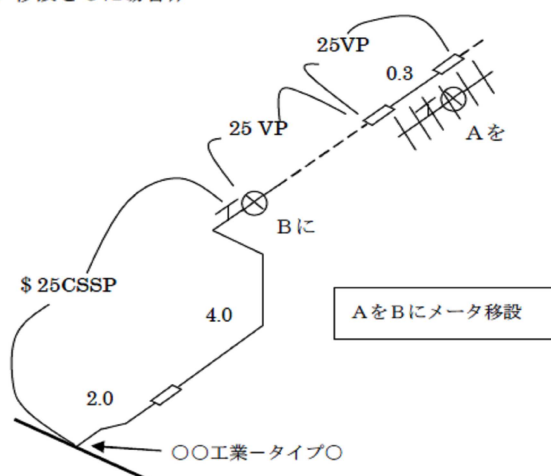
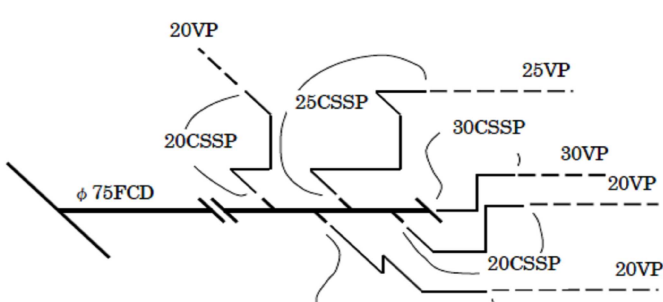


ステンレス製サドル付分水栓を使用した場合は「\$」を表示し、ステンレス製サドル付分水栓の製造者名及びステンレス製サドル付分水栓用ソケットの種類 (A又はB) を記入する。



《国道上における特例浅層埋設給水管の防護を行った場合》



水道工事用書類・様式の記載例集 新旧対照表

改 定 (p. 1-217)	現 行 (p. 1-217)
<p>《メータ移設をした場合》</p>  <p>《集中分岐管に取り付けた場合（45° 方式）》</p>  <p>※ 集中分岐管に取り付けた場合は、できるだけ管が交差しないよう表示する。</p>	<p>《メータ移設をした場合》</p>  <p>《集中分岐管に取り付けた場合（45° 方式）》</p>  <p>※ 集中分岐管に取り付けた場合は、できるだけ管が交差しないよう表示する。</p>


を記入する。

- ・ 新 設
- ・ 撤 去

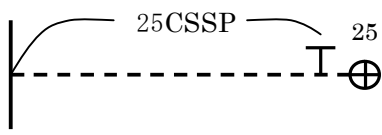
(ウ) 給水管の管種表示

ステンレス管	S S P	ダクタイル 鋳 鉄 管	F C D ○ ○
鉛 管	L P	石 綿 セメント管	A C P
ビ ニ ル 管	V P	仕 切 弁	 (平面図)
鋼 管	G P	ホ ー ル 止 水 栓	 (")
銅 管	C P	メ ー タ	 (")
波状ステンレス鋼管	C S S P		

※ 仕切弁 B 及びメータ表示記号直近の下流側には口径を表示する。

※ 内面粉体塗装ダクタイル鋳鉄管については、継手表示部分を□で囲む(F C D )。

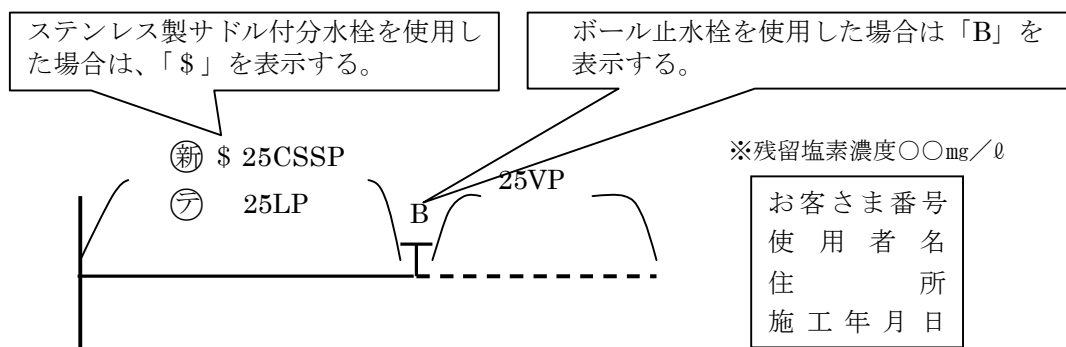
(6) お客様番号等の表示方法

①取付替栓の表示	
<p style="text-align: center;">※残留塩素濃度○○mg/ℓ</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin-right: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">○</div> <div style="text-align: center;"> <p>お 客 さ ま 番 号</p> <p>使 用 者 名</p> <p>住 所</p> <p>施 工 年 月 日</p> </div> </div>	<p>※水質検査（残留塩素濃度測定）対象工事は配水小管布設（φ 50 mmを含む）と同時に、当該配水小管から分岐を行ったものを除く。</p> <p>※枠で囲む。</p> <p>※連合給水管の場合は、幹栓を表示する。</p> <p>※図面ごとに給水管の通し番号(索引番号)を付け、○の中に記入する。</p> <p>※工業用水道管布設路線又は下水再生水管布設路線で採取した対象水についても、採取した場所と残留塩素濃度を記入する。</p>
②支分栓、又は舗装打替路線等において取付替を行わないもの	
<p>お 客 さ ま 番 号</p> <p>使 用 者 名</p> <p>住 所</p>	<p style="text-align: center;">＜平面図図示例＞</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※枠で囲まない。</p> <p>※アパート等で幹栓と同住所のものは住所を省略する。</p>

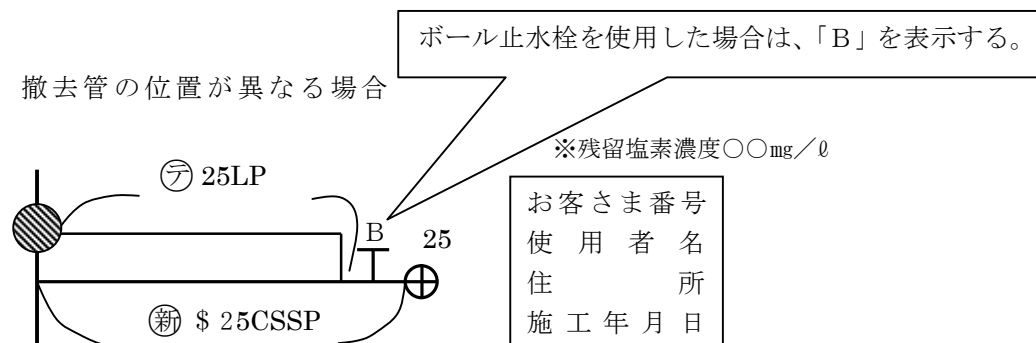
2 平面図の具体的な記載方法

(1) 新設管、撤去管の位置が同一の場所の場合

撤去新設の場合は一本線で表示し、ひっかけ線を設け $\textcircled{\text{新}}$ 、 $\textcircled{\text{テ}}$ と表示をする。

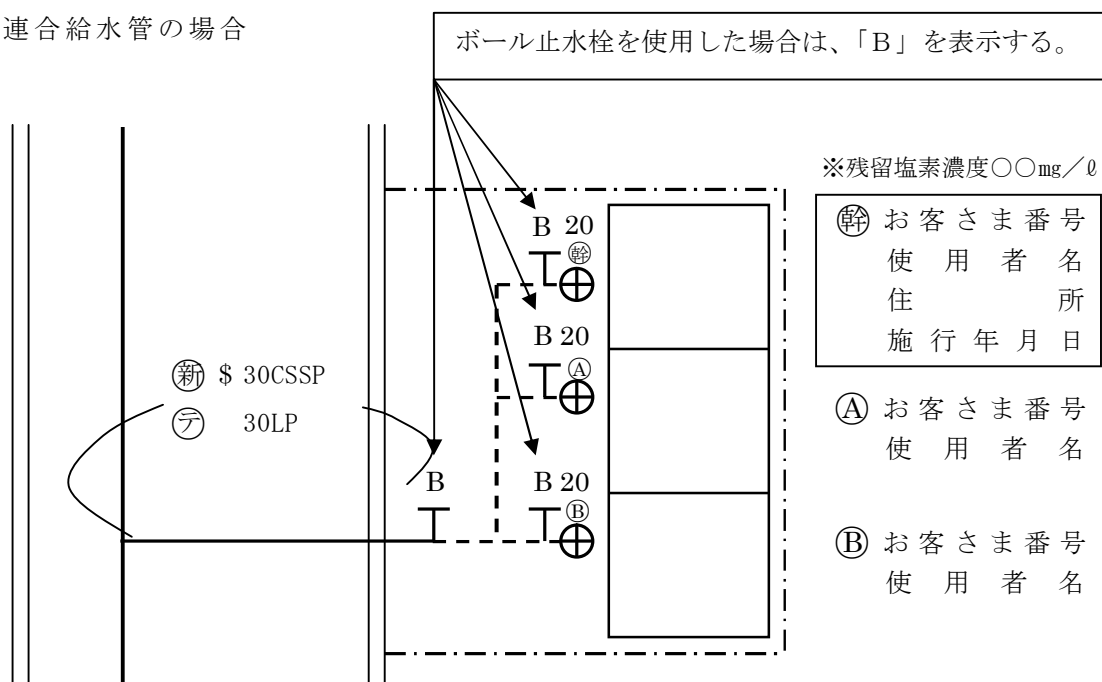


(2) 新設管、撤去管の位置が異なる場合

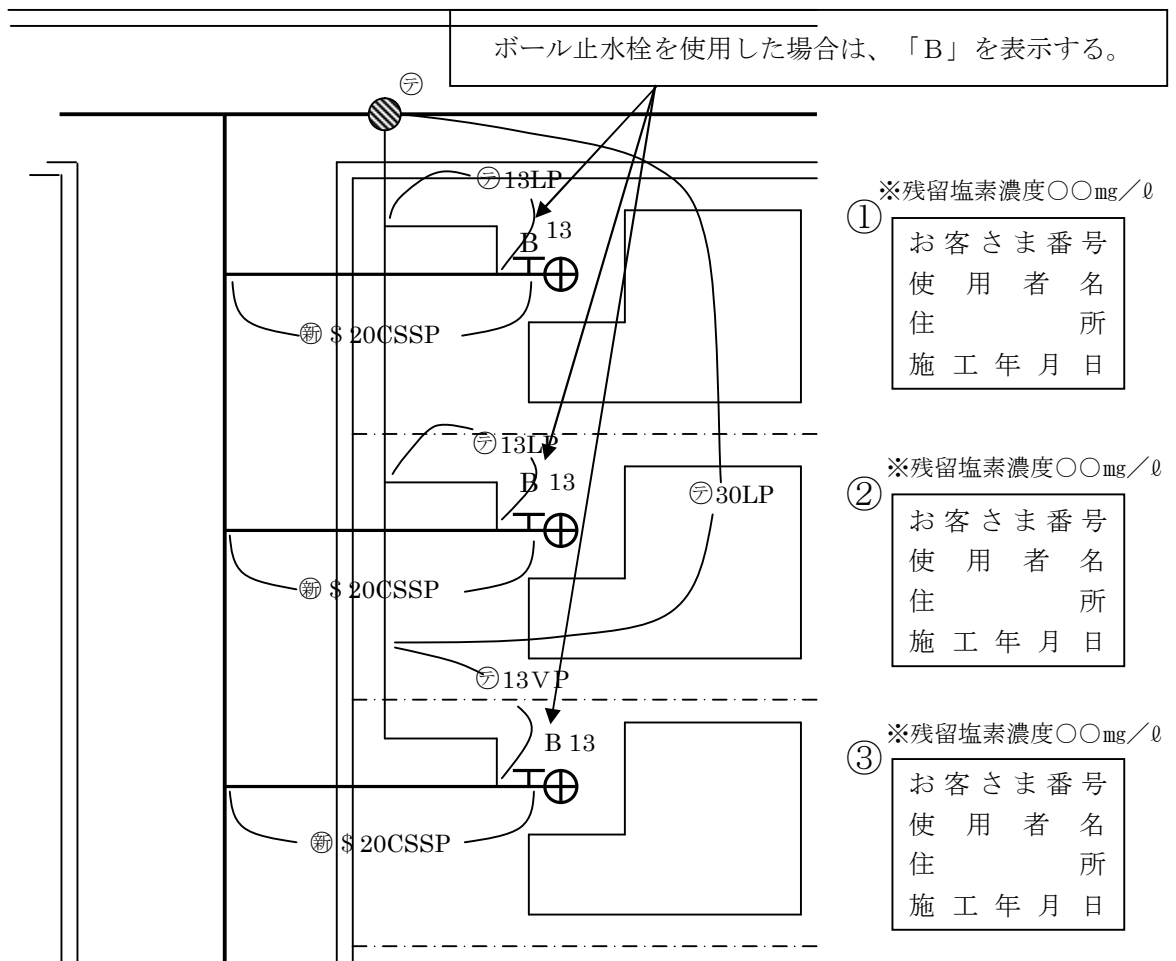


※ 分水栓撤去した場合は、撤去部に $\textcircled{\text{テ}}$ 印をし、 $\textcircled{\text{テ}}$ と表示する。

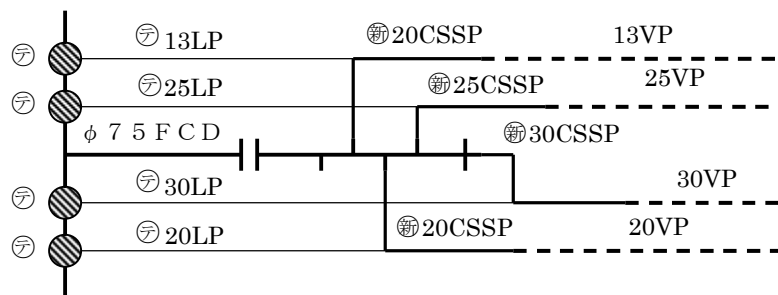
(3) 連合給水管の場合



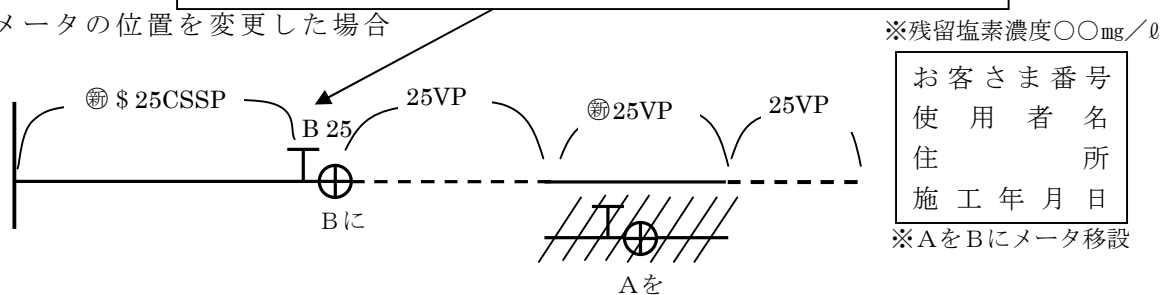
(4) 連合給水管を解消して単独栓にした場合



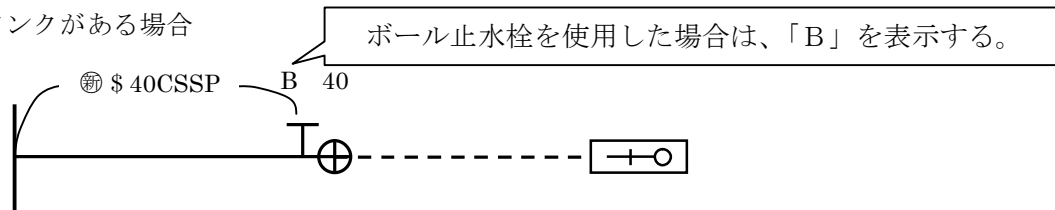
(5) 集中分岐管から分岐した場合



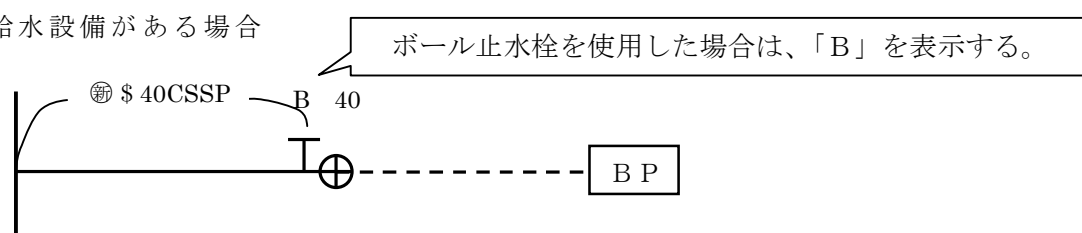
(6) メータの位置を変更した場合



(7) 受水タンクがある場合



(8) 増圧給水設備がある場合



(9) 75mm以上の給水管の表示

当該路線に75mm以上の給水管がある場合は、75mm以上の給水管も表示する。

(10) メータ補足管をショートサイズに取り替える場合

平面図メータ表示記号の下に「取替」と表示する。

(11) 残留塩素濃度測定結果の記入

配水管工事標準仕様書「第7章 第4節 7.4.5水質検査」により水質検査を実施した場合は、当該宅のお客さま番号欄の上に測定結果を記入する。

※残留塩素濃度〇〇mg/ℓ

お客さま番号
使用 者 名
住 所
施 工 年 月 日

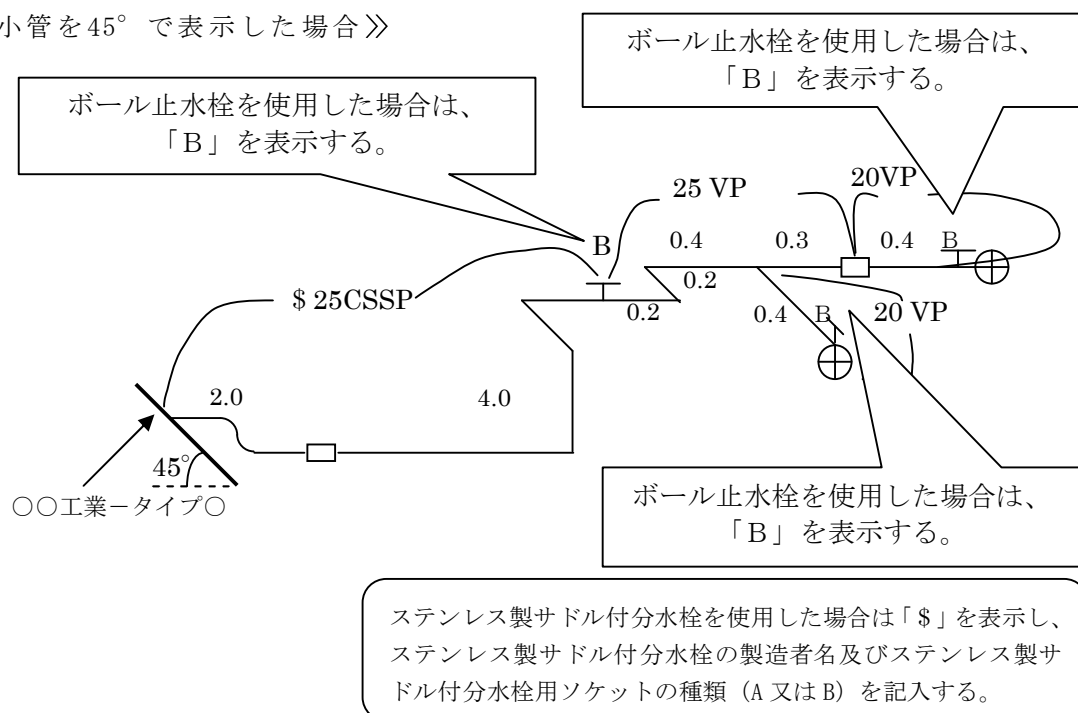
3 立面図の具体的な記載方法

(1) 波状ステンレス鋼管を使用した配管における表示方法は、下記のように表示する。

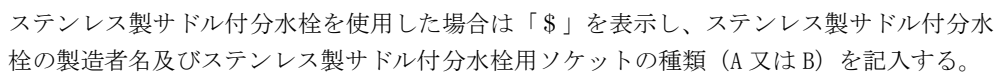
ソケットを使用した場合		エルボを使用した場合		ソケット・エルボとも使用なかった場合	
-------------	--	------------	--	--------------------	--

(2) 配管図の表示方法

《配水小管を45°で表示した場合》

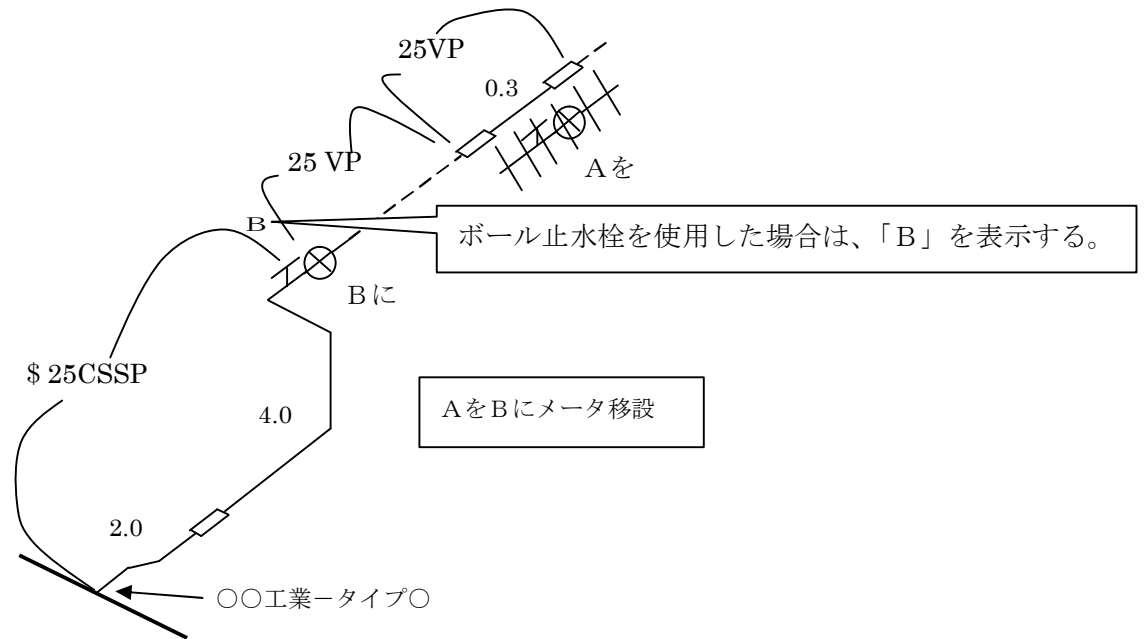


《配水小管を30°で表示した場合》

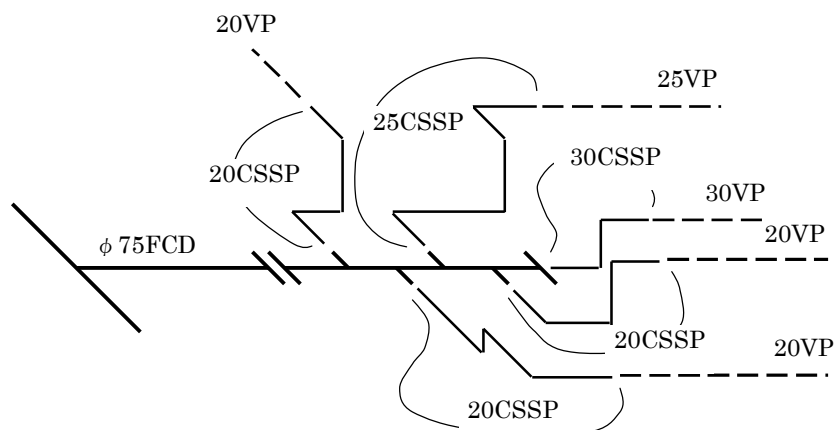


○○○工業-タイプ○
 \$20CSSP
 3.2
 鋼材防護 1.2m
 特例浅層埋設給水管
 DP=0.5m
 ガス管が支障のため
 特例浅層埋設の理由を明記する
 Φ200FCDNS

《メータ移設をした場合》



《集中分岐管に取り付けた場合（45° 方式）》



※ 集中分岐管に取り付けた場合は、できるだけ管が交差しないよう表示する。